

電波時計（報時付掛時計） 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 毎正時にメロディを1曲奏で、文字板が回転しながら開閉します
- 暗くなると報時を停止します
- 電池の交換時期をお知らせします

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について**
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用または現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合**
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせの際は、製品番号（型番）「4MN470RA」をお伝えください。

（Y1210）

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ずすることを示しています。

⚠ 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- ⓘ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

- ⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
禁止

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

- ⊘ 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 漏れた液に直接触れないでください。
- ゴム手袋をして電池を取り出して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

- ⓘ 電池の⊕⊖を正しく入れる
必ず守る 逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

- ⊘ 強い振動や衝撃を与えない
禁止 故障や破損の原因になります。

- ⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
禁止 さびの発生や故障の原因になります。

- ⊘ 分解したり改造しない
分解禁止 けがや故障の原因になります。

- ⊘ 下記のような場所では使わない
禁止 品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

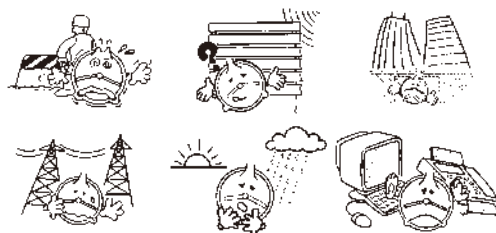
海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますので、電波受信スイッチをOFFにして、手動で時刻を合わせてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池、時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃	*結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	時分針 目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しない場合	平均月差±20秒（常温中のクォーツ精度）
使用電池	単1形アルカリ乾電池	JIS規格 LR20 2個
電池寿命	約1年	標準電波の受信に成功し、報時を音量最大で1日当たり17回行ったとき
報時機能	毎正時にメロディを奏でる	
報時精度	表示時刻に対して±1秒	
ON/OFF	スイッチ切り替え	
自動鳴り止め	明暗センサーと連動して暗所停止	
種類	3群30曲	スイッチ切り替え方式
音量調節	ロータリー式ボリューム	
モニター	メロディ試験機能あり	
動き	文字板が回転しながら開閉する	
電池交換時期	電池ランプ点灯	
お知らせ機能		

電波受信機能	標準電波受信による時刻修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信ON/OFF	あり スライドスイッチ
自動受信回数	最少 1日1回 最多 1日6回

自動受信は受信状態により受信回数は変化します。

受信開始時刻

2時16分20秒 3時16分20秒 4時16分20秒
12時16分20秒 13時16分20秒 14時16分20秒
*2時16分20秒は必ず行う

- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

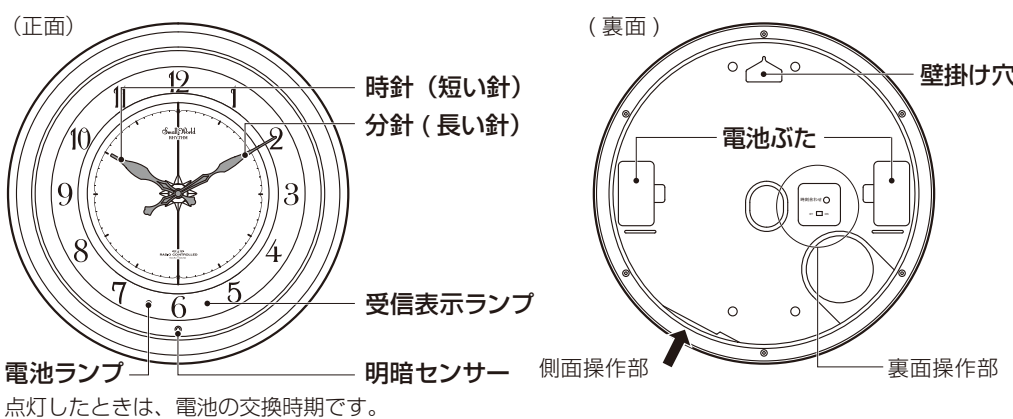
付属品 電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

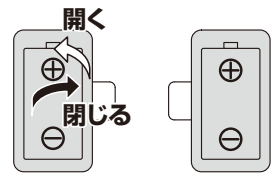
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と役割

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



3 電池を入れる



単1形アルカリ乾電池 2個

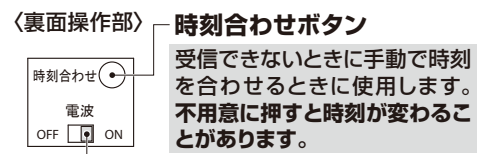
電池ふたを取り外して、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単1形アルカリ乾電池を入れて、電池ふたを取り付ける。

報時するときの動き



針の動き……通常の時刻表示

時計・分針 : 10秒に1回動きまわります
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りや移動したり、停止することがあります。



- 1 電波受信スイッチ
ON : 電波を受信して時刻を修正
OFF : 電波を受信しません
- 2 ボリューム
∩ : 小さくなる
∪ : 大きくなる
- 3 選択スイッチ
A, B, Cのいずれかを選択
- 4 強制受信ボタン
電池を入れた直後や設置場所を変えたときに押します。
- 5 選択スイッチ
A, B, Cのいずれかを選択
- 6 メロディスイッチ
報時のON/OFF切替え

標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた

2 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが3秒間点灯、針が動き出し、受信を開始

針は4:00、8:00、12:00のいずれかで停止します。

電波サーチ

3 受信局を表示

4回点滅 6回点滅 消灯したまま

3秒間点灯後、15~120秒で表示

福島局 (40kHz) 九州局 (60kHz) 受信できない

4 電波の状態を表示

点灯 消灯

良好 受信できない

5 受信開始から最長16分後

受信が終わると、針が動き出します。

受信表示ランプ 2秒に1回点滅

受信表示ランプ 消灯

正しい時刻を表示 不正確な時刻

標準電波を受信できない場合へ

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合や意図的に時間をずらしてお使いになる場合は、下記の操作で時刻を合わせることができます。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
☞ 標準電波受信機能のON/OFF操作 参照。

- 時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。
- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押し続けると早送りになります。

標準電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすい所で使用する場合は意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波受信スイッチをOFFにすると電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

- 電波受信スイッチをOFFにして強制受信ボタンを押すと、ONのときと同様な状態になりますが、受信を行わないで時刻表示になります。必要に応じて、手動で時刻を合わせてください。
- 電波受信スイッチをONにしたときには、必ず強制受信ボタンを押してください。
- 受信表示ランプが2秒に1回点滅しているときに、電波受信スイッチをOFFにしても、最長で24~25時間点滅し続けることがあります。

こんなときには

○電波受信スイッチをONにして、強制受信ボタンを押しても受信表示ランプが点灯しない。正常に戻すには、次の操作をしてください。
時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後に、必ず強制受信ボタンを押してください。



使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ)を参照してください。

- 窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。
- 1 電波受信スイッチをONにする
- 2 ボリュームを左に回して最小にする
操作しているときに、メロディが大きな音で鳴らないようにします。
- 3 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を2個入れる
電池の⊕⊖を逆にすると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。
- 4 強制受信ボタンを押す (標準電波・受信の流れとサーチ機能の使いかた) 参照
受信表示ランプが3秒間点灯し、受信を開始します。また、針は4時、8時、12時のいずれかの時刻に早送りで移動して、受信が終わるまで停止します。
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。
※受信中はボタンの操作をしないでください。
- 5 (時計の掛けかた) に従って時計を確実に掛ける
- 6 受信開始から16分後に受信結果を確認する
受信表示ランプが2秒に1回点滅すれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する場所を探すか、(標準電波を受信できない場合)を参照してください。

報時の設定

毎正時にメロディを1曲奏で、文字板が回転しながら開閉します。メロディは毎正時に切り替わります。

- 6 メロディスイッチ
ON : 毎正時にメロディを1曲奏でる。
OFF : 停止します。
※メロディスイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると停止します。 → (明暗センサーのはたらき)参照
- 7 ボリューム (音量の調節)
モニターボタンを押すとメロディを1曲奏でますので、その間にボリュームを回して調節してください。
- 8 選択スイッチ
曲は、3つのグループに分かれていますので、A, B, Cのいずれかを選択してください。
- 9 モニター (試聴)
モニターボタンを押すと1曲メロディを奏で、文字板が回転しながら開閉します。鳴っているときにモニターボタンを押すと、次のメロディに切り替わります。
○選択スイッチで設定されたグループのメロディを奏でます。
○次の正時には、再生の順番がひとつ進みます。
※メロディは、時刻ごとに固定されていません。
※曲名は、時計裏面に表示してあります。
※時刻合わせボタンを操作して、正時たとえば10時にしても報時しません。

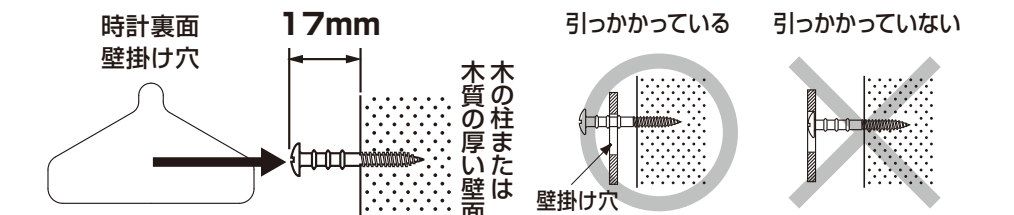
時計の掛けかた

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかりと掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかりと掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

明暗センサーのはたらき……暗くなると報時が停止

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯して、報時が停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、電池ランプが赤色点灯します。このような状態になると報時、標準電波の受信も停止します。針は、約1カ月間動き続けませんが、ご使用状態により、動き続ける期間が短くなることがあります。
電池ランプが赤色点滅したときには、速やかに新品の電池にすべて交換してください。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときには強制受信ボタンを押してください。